

前祭巡行：7月17日 後祭巡行：7月24日

7月の四条界限はまさに祇園祭一色。
お囃子の涼しげな鉦の音が、人々の心を高鳴らせます

山鉾町と巡行コース案内図 Floats set-up and procession route

さきまつり

前祭

Early Procession

7月14日～16日が宵山行事、17日に巡行
(下図の山鉦で宵山行事を行います)※15日・16日のみ歩行者天国・露店あり

山鉦の建日

(山鉦建ては、それぞれ下記の日から始まります。)

建日	山鉦名	建日	山鉦名
7月9日	長刀鉦	7月13日	芦刈山、油天神山、綾傘鉦、 叡天神山、占出山、郭巨山、 太子山、木賊山、蟬螂山、 白奉天山、山伏山
7月10日	函谷鉦、菊水鉦、月鉦、 鷗鉦	7月14日	四条傘鉦、孟宗山
7月11日	岩戸山、船鉦、放下鉦		
7月12日	伯牙山、保昌山		

あとまつり

後祭

Latter Procession

7月21日～23日が宵山行事、24日に巡行
(下図の山鉦で宵山行事を行います)※歩行者天国・露店はありません

山鉦の建日

(山鉦建ては、それぞれ下記の日から始まります。)

建日	山鉦名	建日	山鉦名
7月18日	大船鉦、鷹山、南観音山	7月20日	浄妙山、鈴鹿山、八幡山
7月19日	役行者山、北観音山、 黒主山、鯉山	7月21日	桶弁慶山

祇園祭の起源といわれるのは貞観十一年(八六九年)。都をはじめ国々に疫病が流行し、人々はこれを牛頭天王の祟りとして恐れしました。そこで国の数と同じ六十六本の矛を立てて祭りをを行い、神輿を神泉苑に送って疫神の祟りを祓おうとしたのです。これが祇園御霊会(祇園会)と呼ばれるようになります。

その後、力を付けた町衆が鉦と並んで作り山や輿を建てるようになり、応仁の乱で中断するものの、十六世紀には都の復興・有力商人の台頭とともに豪華絢爛な祭りへと発展していったのです。

千年以上の歴史をもつ祇園祭は、東京の神田祭、大阪の天神祭とともに日本三大祭の一つに数えられ、ユネスコ無形文化遺産へ登録されています。

The Origins of the Gion Festival

The Gion Festival originated in 869 when a plague broke out in the capital of Kyoto and swept through every province in the country. Terrified, the people attributed this calamity to Gozu Tennō, a deity who not only brought plagues and disasters but who also protected against them if worshipped. A special festival was held to summon the god and transform him into a protective spirit. Sixty-six halberds, one for each province, were erected and the mikoshi (portable shrines) from Yasaka Shrine were carried to Shinsen-en Garden near the imperial palace grounds. This practice was repeated for subsequent outbreaks until it was made an annual event known as the Gion-goryōe (Gion-e).

By the Nanboku-chō period (1336-1392), the merchant class had risen in power and influence and they began to make yama floats and portable shrines in addition to huge hoko floats, which were topped by halberds. Although interrupted by the Onin War, which destroyed much of Kyoto in the mid-15th century, the capital was rebuilt by the 16th century and the festival developed into a spectacular event supported by the increasingly influential merchant class.

Along with Tokyo's Kanda Festival and Osaka's Tenjin Festival, Gion Festival is numbered among the three great festivals in Japan that have a history of more than one thousand years. Gion Festival was designated a UNESCO intangible cultural heritage.

鉦と山の構造

鉦

- 重量/約7～9トン
- 高さ/地上から鉦頭迄約25m・地上から屋根迄約8m
- 車輪/直径2m前後
- 鉦屋根/長さ4.5m・巾約3.5m
- 石持/長さ約6m余
- 鉦床面積/4畳半～6畳
- 曳手/鉦の巡行の際、綱を曳く役30人～50人
- 音頭取/お囃子と車の操作の上に立つ指揮者役2人(辻を曲る時のみ4人)
- 屋根方/鉦の屋上で真木の動揺を加減し電線等の障害を調整する役4人

山

- 重量/約0.5～1トン
- 昇手/14人～24人

今年のお稚児さん

Kento Kubo

久保 堅斗君

祇園祭の長刀鉦といえば、7月17日に行われる前祭の山鉦巡行で先頭を進む鉦。1225年、祇園社(現在の八坂神社)に寄進された長刀を鉦に掲げたことに始まり、今年で誕生から800年を迎えます。長刀鉦は稚児が乗り込む唯一の鉦で、四条通麨屋町に張られた注連縄を稚児が太刀で断ち切る「注連縄切り」は大きな見どころの一つです。

800年の節目の年に稚児の大役に選ばれたのは、同志社小学校3年生の久保堅斗君。稚児の補佐役である禿を務めるのは双子の兄弟で、ノートルダム学院小学校4年生の岡山登吾君と、晴汰君です。

久保君の父で和装小物の製造販売を手掛ける久保貴裕さんは、小学5年生のときに禿を務めた経験があり、その話を聞いて久保君も「自分もやってみたい」と思ったといいます。八坂神社へ社参する際の乗馬や山鉦巡行での注連縄切りを頑張りたいと抱負を語ってくれました。

祇園祭の稚児 Gion Festival Chigo child

祇園祭の稚児は「神の使い」。古くから船鉦を除いたすべての鉦に生稚児が乗っていましたが、昭和4年(1929年)に放下鉦の稚児が人形になったのを最後に、現在では生稚児が搭乗するのは長刀鉦だけとなっています。祇園祭の期間中は多くの儀式が執り行われ、7月13日には長刀鉦の稚児が八坂神社に騎馬で社参し、五位少将・十万石大名の位を授けられます。17日の巡行後にこの位をお返し、大役を終えます。

The Gion Festival's chigo child is considered to be a divine messenger. A live chigo rode on all hoko floats other than Funa-hoko until 1929 when Hoka-hoko was the last of the floats to replace the live chigo with a doll. Since then Naginata-hoko has been the only float to have a live chigo. Among the many rituals that take place during the Gion Festival period, the Naginata chigo's crucial role includes riding on a horse to Yasaka Shrine on July 13th where he is conferred the Imperial rank of Goi Shoi and Jumangoku Daimyo. He surrenders his rank after the procession on July 17th, thus completing his duties.

祇園祭のスケジュール

【7月1日～18日】
吉符入(各山鉦町)

【7月2日】
くじ取り式(京都市役所)

【7月5日】
長刀鉦稚児舞披露
(長刀鉦町)

【7月9日～14日】
前祭 山・鉦建て
(各山鉦町)

【7月10日】
神輿洗式(八坂神社)

【7月12日～13日】
前祭 山鉦曳き初め・
山昇き初め
(各山鉦町)

【7月13日】
長刀鉦町稚児社参
(八坂神社)

【7月14日～16日】
前祭 宵山行事(各山鉦町)
※15日・16日のみ歩行者天国・露店あり

【7月17日】
前祭 山鉦巡行
(9:00から、四条烏丸を起点に)
神幸祭(八坂神社～四条御旅所)

【7月18日～21日】
後祭 山・鉦建て(各山鉦町)

【7月20日～21日】
後祭 山鉦曳き初め・
山昇き初め
(各山鉦町)

【7月21日～23日】
後祭 宵山行事(各山鉦町)
※歩行者天国・露店はありません

【7月24日】
後祭 山鉦巡行
(9:30から、烏丸御池を起点に)
還幸祭(四条御旅所～八坂神社)

【7月28日】
神輿洗式(八坂神社)

【7月29日】
神事済奉告祭(八坂神社)

【7月31日】
疫神社夏越祭・芽の輪くり
(八坂神社境内疫神社)

※日程等は変更になる場合があります。
ご注意ください。

第39回いけばな展

～祇園祭にいける～

令和7年7月15日(火)～
同年7月17日(木)

祇園石段下～烏丸通の四条通にある店舗
ショーウィンドウや店内に、京都を代表するいけばな各流派の先生による作品が展示されます。
(参加店29店舗)ぜひご覧ください。

祇園祭にいける
いけばな展
展示店

参加店は、店頭頭の「いけばな展」(ナエ)が目印です。